



7/12 (火) 犯罪、非行の防止と更生を支える

毎年7月は、法務省が唱える「社会を明るくする運動」の強化月間となっており、法務大臣、県知事、県教育長から市へ、同運動への支援を求めるメッセージ伝達式が市役所で行なわれました。この運動は、犯罪や非行に陥らない地域社会づくりや、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪の無い明るい社会を築こうと全国的に展開される運動です。

伝達式では、高齢犯罪者の著しい増加や、刑務所に再入所する者の約7割が無職であることなど、現状や課題が説明され、市に同運動に対する理解と協力を求めました。



7/29 (金) 触れて、楽しむアート

「見て」「触って」「参加して」ゲームのように楽しみながら芸術に触れる「魔法の美術館 光のアート」展が浦添市美術館で開催され、そのオープニングセレモニーが行われました。

この日は大平保育所の園児20人が招待されたほか、多くの子もたちが会場を訪れ、色鮮やかなたくさんのビー玉を光にかざして布越しにのぞき込む「光であそぶ」や足踏みの動作で色彩と音のリズムを作る「Hop Step Junk」など、体験型の作品に声をあげて楽しんでいました。同展覧会は9月11日まで開催されています。



7/8 (金) 日頃感じたことを素直に発表

「第25回浦添市少年の主張大会」が神森中学校で開催され、市内各中学校より男女1人ずつが「自由」というテーマで日常生活を通して感じていることを発表しました。最優秀賞に選ばれた立津 友梨香さん(仲西中3年:右写真)は、小学4年生の頃宮城県から引っ越し、その時に友達からの手紙により励まされたことや、東日本大震災で被災地となった故郷の人達への思いをつづり、離れていても心はつながっているという思いを素直な気持ちで発表しました。また、優秀賞には漢那 早也花さん(浦添中3年)、澤岷 安樹さん(浦添中3年)が選ばれ、そのほかの生徒達は優良賞を受賞しました。



(写真中央は市長代理の吉村副市長)

8/1 (月) ボランティアに参加しませんか

東日本大震災の復興に向けて、ボランティア活動への期待が高まる中、小中高校生が夏休み期間に入る8月を「ボランティア月間」と定め、浦添市長名で「市民ぐるみのボランティア」宣言が行なわれました。

この宣言は、全ての市民が主役となり、より多くの自発的な参加のもと、共に支え合う健康福祉都市などの実現を目指したものです。

期間中は「東日本大震災支援募金」を始め、ボランティア活動への関心を持つきっかけづくりを目的として「中高生ボランティア体験キャンプ」や障がい者への理解を深めるための「障がい疑似体験」などが開催されました。



8/3 (水) てだこウォーク、3キロコース新設

「うらそえツデーマーチ」として親しまれている毎年恒例の「てだこウォーク」のコース変更が行なわれ、沖縄県ウォーキング協会の積洋一会長より実行委員長である市長に報告がありました。

5年ぶりとなる今回の見直しは、従来のコースについて今よりもスムーズにウォーキングできるよう若干の変更を行い、更に子ども達や親子連れが気軽に参加できるよう、2日間それぞれに3キロコースを新設しました。

「てだこウォーク2012」は来年2月4日(土)・5日(日)に開催予定で、申込みは11月頃、広報紙や市ホームページなどでご案内します。



松本 沙也加さん 親盛 明佳里さん 照屋 瞳さん

2011年てだこしディ紹介

てだこまつりでお披露目となった2011年のてだこしディを紹介します。

ホワイトリリー 松本 沙也加さん
「浦添市の文化を県内外へ伝えていきたいです。」
ゴールドンカップ 親盛 明佳里さん
「生まれ育ったふるさと浦添市の魅力を県内外の方に伝えていきたいです。」
サンフラワー 照屋 瞳さん
「得意の英語を使って国内外の皆様へ浦添市の人の温かさ、住みやすさを伝えていきたいです。」
今年一年、浦添の親善大使としてがんばりますので応援をよろしくお願いします。



吉濱 活さん 源 武二さん

7/11 (月) 住みよい地域社会をつくるために

法務大臣からの人権擁護委員委嘱状伝達式が市役所で行なわれました。本市の人権擁護委員は12人から構成されており、人格見識の優れた人として地域住民の中から選ばれ、市民の日常生活に接しつつ、人権啓発、人権相談、その他人権擁護のための適切な救済活動を行っています。

今回は再任の島田 勝男さん、新任の松田 進さん、兼村 尚子さんの3人に委嘱状が手渡されました。

また、退任委員感謝状贈呈式も同時に行われ、33年間務めた源 武二さんと29年間務めた吉濱 活さんにそれぞれ長年にわたる苦勞を称える感謝状が贈られました。